

案



東北建設建第 43 号
平成 19 年 5 月 8 日

国土交通省 道路局長 殿

東北町長 竹 内 亮



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について

上記の件について別紙のとおり送付致しますのでよろしくお願ひします。

東 北 町

今後の道路政策や道路の整備・管理について

「重点化を進める上で特に優先度の高い政策」

道路特定財源制度は、自動車利用者が必要な道路整備を賄うために創設された目的税である。従って、社会資本整備重点計画に基づき重点的道路整備を推進するためにも、受益者負担の原則に則り、道路特定財源制度を今後とも絶対堅持し、一般財源化することなく全額を道路整備予算に充てること。

- ・ 救急医療を含め地域の安全安心の暮らしを支える道路整備。
- ・ 地域格差のない地域力、活力を生む道路整備。
- ・ 「繋がっていない道路」は機能を発揮できない。従って、高速道路を含めた道路ネットワークの確立に向けた道路整備。
- ・ 全国一律で物事を見ないで地域の実情を理解し、地域住民と行政が一体となった生活道路整備。
- ・ 災害時における緊急物資の輸送、避難道路としての活用、交通網の寸断による孤立解消に配慮した防災対策道路の整備。
- ・ 「より遠くへ・より速く移動」は地域の元気が出る。道路網の充実は地方と都市部を結び物流、雇用を含めた交流の促進に繋がる道路整備。
- ・ 交通渋滞解消のためのバイパス整備、また、踏み切り対策でJRに平面での改修を柔軟に対応するよう要請すること。

「効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと」

- ・ 資材単価等の積み上げ方式による積算を改め、工事種別による単価設定制度を導入し、積算業務の省力化及び事務の簡素化を図ること。よってこのことは事業のスピードアップにもつながる。
- ・ 道路構造令等の改正を図り、使用資材の見直しを含め工事コストの徹底した縮減を図ること。このことにより同じ事業費で大幅な事業量の拡大が図れる。
- ・ 各省庁間の連携を図り事業効果・投資効果・スピードを図ること。

「その他、道路政策や道路整備・管理全般についての意見」

・ もう道路整備は必要ないという大都市圏の「世論」に地方は大変な憤りを感じている。費用対効果のみで道路整備の要否を判断するのではなく、安全で安心な道路は全国平等にあってしかるべきだ。ただでさえ当町のような積雪寒冷地帯は、夏場に比べ冬場は1.5倍から2倍の移動時間を要し、無駄な時間を使うことを強いられている。地方の暮らしと社会資本整備は切っても切り離せない関係にある。同じ税金を納め、ただひたすら高速道路等の整備順番を待っていた地方の実情を理解してほしい。「道づくりは国づくりの礎」質の高い道路は確実に次世代に残る。同じ国民として地方を切り捨てるような施策には断固反対である。平等な扱いを要望する。

また、子供から老人まで住民総参加による道路の点検及び整備計画を策定し、官民一体となった道路管理、整備の推進こそが真に地域住民が望む「道」づくりに繋がる。

さらに、今、地方では道路構造令にのっからない幅員2m～3mの生活道路整備に苦慮している。これらの整備に補助制度の確立を検討してほしい。

一般国道45号「上北道路」の整備促進並びに
「上北横断道路」の早期完成に関する要望書

「要 旨」

当町の経済活性化と高速ネットワーク形成に欠くことのできない重要路線、一般国道45号「上北道路」の事業促進と併せ「上北横断道路」の早期完成を図ってほしい。

「理 由」

一般国道45号「上北道路」については、関係各位のご尽力により平成17年度から事業着手されたことに対し心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、当町は広大な農地を活かし、長芋、大根、ニンニク、ゴボウ等の根菜類を中心とした野菜の生産を初め、県内でもトップクラスの規模を誇る畜産。また、県内最大の面積を誇る「宝沼」小川原湖から水揚げされるシラウオ、シジミ、ワカサギなどは全国でも有数の漁獲量を誇っております。

これらの農水産物輸送を含め、町民の日常生活や経済活動を支える足として、自動車交通に依存の極めて高い町であります。

本路線が完成することにより、農水産品の市場拡大や地域間交流の推進、さらには高次医療施設への搬送時間の短縮、災害時における緊急輸送路としての機能を含め町民の安全・安心を支え、地域力・活力を生む重要な社会資本となります。

特に、八戸市～青森市間においては、全国で唯一、同一県内20万人以上の都市が、高規格幹線道路ネットワークで結ばれていない区間であり、とりわけ代替路線のない「上北横断道路」26Kmの早期完成は長年の切実な願いであります。しかしながら現状は、公共事業費の更なる削減や道路特定財源の一般財源化問題等々道路整備を巡る状況は誠に厳しいものがあります。

「道づくりは国づくりの礎」、質の高い道路は確実に後世に残ります。費用対効果のみで道路整備の要否を判断することなく、地域の実態、実情をご賢察の上道路特定財源を道路整備以外の目的に流用することなく、より一層道路事業予算の増額を図り、地域にとって「真に必要な道路」である一般国道45号「上北道路」の事業促進と併せ、「上北横断道路」の早急な整備が推進されるよう次の事項について要望します。

記

1. 東北町の自立的発展の核となる一般国道45号「上北道路」の整備促進並びに「上北横断道路」の早期完成に向け積極的な事業の推進が図られるよう、本年度策定の中期計画に盛り込み、平成20年度の道路事業予算全体の増額を図ること。
2. 社会資本整備重点計画に基づき重点的な道路整備を推進するためにも、道路特定財源制度の主旨である受益者負担の原則に背き安易に道路整備以外の目的に流用することなく、その全額を地域にとって真に必要な道路整備予算に充てること。